

# メーカー系に比べ保守費用は3~5割低減、 改修(油圧式にも対応)工費も2~4割低減 コスモエレベーター(株)

コスモエレベーター(株)は、1980年創業のエレベーター保守専門の会社だ。現在、関東・東北の12か所に支店・営業所等を展開し、エレベーター保守台数は約5,700台にのぼる。この数年、保守台数は毎年5~10%の増加を続け、レジャー・ラブホテルでもすでに350台以上の保守実績を有している。さらに自社の直接施工で低工費を実現している改修工事でも評価が高く増加中だ。

## ■メーカー系企業の保守に比べ

### 3~5割の費用低減

同社が保守台数を伸ばしている要因は、メーカー系に比べ3~5割の費用低減になるからだ。「メンテナンスに特化し、開発コストや各種付帯コストがかからないため費用を大きく抑えることができるのです。また、従来はメーカーが部品を供給しないなどの問題もありましたが、2002年の公正取引委員会の勧告でそれらの問題が解消したことも背景にあります」(同社営業部課長・村上優氏)。

同社の保守業務の特徴は、

- ①各社の部品を豊富にストックし、万一の故障の際に早期復旧させる体制が整えられている。
- ②部品自体の低価格化とランニングコストの低下を図るため、汎用性のある部品を自社で研究開発し供給している。
- ③メンテナンス担当者の技術力を重視し、能力向上の教育に力を注ぐ。

同社の保守台数増加の背景には、費用の低さに加え、技術力と故障時等の対応力があるのだ。

## ■低工費の改修工事も増加中

### 油圧式の改修にも対応

ここにきて、同社業務のなかで注目



が高まっているのが、エレベーターの改修工事だ。現在、エレベーターメーカー各社は、製造から20~30年経過した機種の一部供給終了に伴い、改修の提案を進めている。供給終了部品が故障すれば復旧できなくなってしまうからだ。しかし同社では「改修時には、ぜひ相見積りを」と指摘する。

同社は20年前からエレベーターの改修工事でも手掛けており、工費を抑えた「シンプルリニューアル」が特徴だ。必要最小限の仕様を基本に各種機能はオプションで対応し、自社施工によって工費を抑制。メーカーの改修に比べて2~4割の工費低減を実現していることから、改修件数も年々増加中だ。

また、油圧式エレベーターの改修にも対応している。油圧式は、20~25年前に屋上の機械室が不要等のメリットから中低層ビルに用いられた方式。その後、ロープ巻上式が主流となり、メーカーもすでに製造していない。そのためメーカーは油圧式の改修には対応せずロープ巻上式への変更を行なうため、工費が1,000万円超、工期も1か

月弱と、新設と同様の工費・工期がかかってしまう。さらに建築確認申請も必要となる。同社では、油圧式の改修に対応し、工費はメーカーが行なうロープ巻上式への変更に比べて約半額、工期も1週間程度で対応できるのだ。

## ■業務推進システムで

### 信頼性と低コストを向上

現在、同社はトータル業務推進プラットフォームの構築を推し進めている。業務自体はマンパワーであり、その能力向上の教育・育成に注力しているが、同時にマンパワーを効率的かつ最大限に発揮できるように支援するシステムだ。情報の一元管理・同時共有等によって、業務をよりスピーディに、より正確に、そしてより低コストにできることになる。同社の信頼性と低コストの魅力がさらに向上するといえよう。

[問合せ]  
コスモエレベーター(株)  
東京都千代田区神田美倉町3  
TEL.03-3255-5581  
FAX.03-3255-5590  
<http://www.cosmo-elevator.co.jp>